

## 第2学年 美術科

### 1 年間学習計画

学期	月	単元	内容	教科書・教材等
前期	4	授業開き「2学年の美術とは」	<ul style="list-style-type: none"> <li>素直な心で提示されたことに対して取り組むことができる。</li> <li>1学年で学んだ基礎の復習をする。</li> <li>人間の能力を理解し、活用できるような目標をたてることができる。</li> </ul>	<教科書> 学びの実感と広がり 学びの探求と未来 (日本文教出版)  <副教材> 感じる表す美術 東京都版 (浜島書店)
	5	～鑑賞・知識～ 「光りに色を見つける ～印象派・新印象派～」	<ul style="list-style-type: none"> <li>風景の作品を様々な視点で分析的に観察し、作品から感じ取られることを言葉で表現する。</li> <li>印象派と新印象派の表現を学ぶ。作品を通して、写実主義から印象派への移り変わりを感じとる。</li> <li>表現の工夫や特徴をとらえ、作者の心情や表現意図について考える。</li> </ul>	
	6		～絵画～ 多様な絵画表現「点描」	
7	～デザイン・鑑賞～ 視覚伝達「ポスター」 (キャリア教育)	<ul style="list-style-type: none"> <li>日常生活の中で見られるポスターなどを鑑賞し、伝達デザインにおける形などの性質やそれらが感情にもたらす効果を多様な視点から理解する。</li> <li>伝達機能としてのデザインの役割を知り、テーマを図案化する。</li> <li>知識として得た色の効果を考え、平塗りの技能を生かし、美しく平面制作を行う。</li> <li>社会の諸問題について考えることで社会参画している一員としての自覚をする。</li> <li>人に訴えかけるメッセージを作品に託すことで自らの意見を他者に表明、表現する。またお互いの作品を鑑賞しながら自分の言動が他者の与える影響について理解することや、双方の個性を尊重する。</li> </ul>		
8		<ul style="list-style-type: none"> <li>生活を潤す工芸品を作ることの価値を知る。</li> <li>世界に一つしかないデザインを考え併せ、心を込めて制作する。</li> <li>生活の中の造形や美術の働き、美術文化に関心をもって、生涯にわたり美術活動を継続する心を耕す。</li> <li>生活を美しく豊かにする美術の働きを理解する。</li> </ul>		
後期	9	～工芸～ 「生活を潤す工芸」 (キャリア教育)	<ul style="list-style-type: none"> <li>「最後の晚餐」などの作品の鑑賞し、線遠近法、透視図法、投影図法のしくみについて学び、理解する。</li> <li>自由分割、等分割、比例分割、シンメトリー、リズム、一点透視図法、二点透視図法、投影図法、線織面など、線の構成の基礎をプリントにそって行い可能性を味わう。</li> <li>不思議な見え方をする絵画を鑑賞し、錯視や逆さ絵の特徴を理解する。</li> <li>学んだ技術や知識をいかして、平面構成の作品の制作をする。</li> </ul>	
	10		～鑑賞～ 「他者の作品の相互評価」	<ul style="list-style-type: none"> <li>他者の作品のよいところを見つけ、メッセージカードを書き、伝える。</li> </ul>
	11	～デザイン・鑑賞～ 「遠近感を感じられる平面構成」 「不思議な見え方をする平面構成」	<ul style="list-style-type: none"> <li>自由分割、等分割、比例分割、シンメトリー、リズム、一点透視図法、二点透視図法、投影図法、線織面など、線の構成の基礎をプリントにそって行い可能性を味わう。</li> <li>不思議な見え方をする絵画を鑑賞し、錯視や逆さ絵の特徴を理解する。</li> <li>学んだ技術や知識をいかして、平面構成の作品の制作をする。</li> </ul>	
12	～鑑賞～ 「他者の作品の相互評価」	<ul style="list-style-type: none"> <li>他者の作品のよいところを見つけ、メッセージカードを書き、伝える。</li> </ul>		
1	2	～鑑賞～ 「他者の作品の相互評価」	<ul style="list-style-type: none"> <li>他者の作品のよいところを見つけ、メッセージカードを書き、伝える。</li> </ul>	

### 2 観点別評価・評定・具体的な手立て

	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
評価方法	定期考査 作品 作品説明プリント	定期考査 作品・レポート・作品説明プリント プリント(鑑賞) アイディアスケッチ、下絵	学習をすすめる中で身の回りのものに興味関心を持ち、制作への意欲へとつながられる。作品へのまじめな姿勢。 提出物、授業準備、机上の整頓、発表
評価規準例	<ul style="list-style-type: none"> <li>対象や事象を捉える造形的な視点について理解している。</li> <li>表現方法を創意工夫し、創造的に表現している。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>造形的なよさや美しさ、表現の意図と工夫、美術の働きなどについて考えるとともに、主題を生み出し豊かに発想し構想を練ったり、美術や美術文化に対する見方や感じ方を深めたりしている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>美術の創造活動の喜びを味わい主体的に表現及び鑑賞の幅広い学習活動に取り組もうとしている。</li> </ul>
具体的な手立て	<ul style="list-style-type: none"> <li>基本的な表現の手段や方法を習得する。</li> <li>制作の見通しを立てて、自分の表現に必要な材料や技法を選んで有効に利用する。</li> <li>独自の表現をするための工夫をする。</li> <li>美術作品や文化遺産などに親しみ、感性や想像力を働かせてよさや美しさを感じ取り味わい理解する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>豊富なアイディアで、内容が変化に富んでいる。</li> <li>アイディアの内容が目標にあっている。</li> <li>アイディアの中から、意図にあった最良のものを選ぶ。</li> <li>制作の見通しを立てる。</li> <li>完成した作品の相互評価で、お互いの良さを発見する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>課題に対して粘り強く、自ら学ぼうと意欲的に表現活動に取り組む。</li> <li>授業中、私語なく集中して取り組む。</li> <li>身辺を制作しやすく整理する。</li> <li>提出物は期限を守って確実に出す。</li> <li>授業に必要なものを事前に準備し、計画的に制作をすすめる。</li> <li>様々な課題にすすんで取り組む。</li> </ul>

### 3 アドバイス

(1) 授業中に心がけること <ul style="list-style-type: none"> <li>道具の扱いに注意し、使い方を理解して使いこなせるようにする。</li> <li>説明をよく聞き、作業過程を把握し、計画性を持って作業を進める。</li> <li>丁寧にじっくり集中して作業する。</li> </ul> (2) 家庭で心がけること <ul style="list-style-type: none"> <li>忘れ物をしないように準備をしっかりする。</li> <li>短時間のクロッカーなどを繰り返し練習する。</li> </ul> (3) 普段の生活で心がけてほしいこと <ul style="list-style-type: none"> <li>身近な芸術作品に興味・関心をもつ。</li> <li>図書やインターネットなどで有名な芸術作品について調べる。</li> <li>美術館や博物館などで本物の芸術作品に触れる機会をできるだけ増やす。</li> </ul>
---